



ESI[tronic] 2.0 Online

News 2021 | 3

- Secure Diagnostic Access (SDA)
- 自動車メーカーの修理・メンテナンスデータの統合
- インストール不要の自動アップデート



Secure Diagnostic Access (SDA) – セキュリティー 保護された車両診断データにアクセスする為の、ボッシュ の標準化されたソリューション

新しい車両モデルの車両電子機器を守るために、多くのメーカーは、様々なアクセス要件やコンセプトのもと、個々のソリューションに依存しています。
特にマルチブランドの一般修理工場にとっては、この多様な状況は技術的・経営的な大きな課題をもたらします。

ESI[tronic] 2.0 Online の新機能である“Secure Diagnostic Access” (SDA) では、統一され標準化されたソリューションをユーザーに提供し、これにより、(ボッシュと契約をしている)自動車メーカーのセキュリティーデータへのアクセスを容易にします。

SDA を使用することで、ワークショップの従業員は様々な自動車メーカーのポータルサイトへの登録やログイン、場合によっては支払い、などといったものを個々にする必要がなくなります。

SDA は自動車メーカーの個々のソリューションを統合した、診断ソフトウェア ESI[tronic] 2.0 Online の コントロールユニット診断(SD)の機能の一部です。





**Restricted access
to diagnostic features**
requires multiple registration
and payment options



Secure Diagnostic Access (SDA)
part of ESI[tronic] 2.0 Online



**Unrestricted access and
trouble-free diagnosis**
for various vehicle
manufacturers and models

This means for ESI[tronic] users:



Simple Solution



Cost Benefit

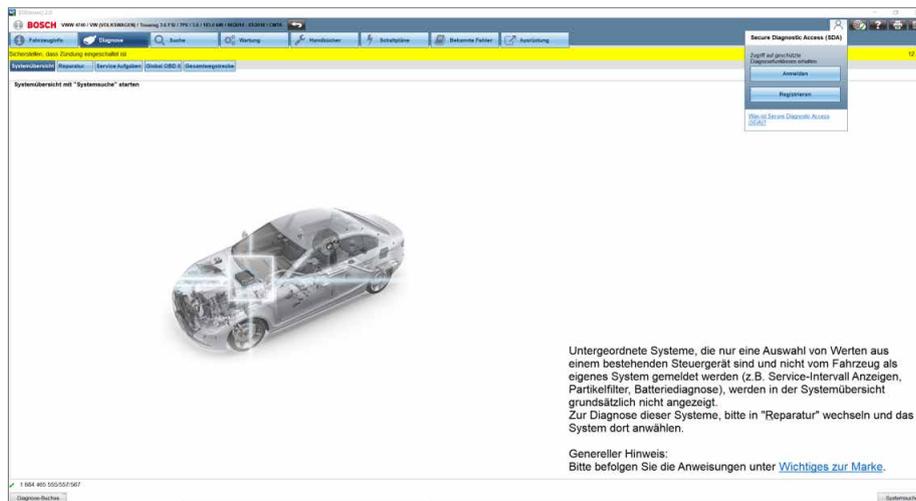


Time Saving



Future Proof

契約自動車メーカーのセキュリティー保護された車両データへのこの便利なアクセス機能は、ユーザー名とパスワードで構成されるいわゆるボッシュIDを使用して可能になります。ワークショップの従業員は、1回限りの登録プロセスを完了すると、このIDを受け取ります。また、登録プロセスのガイドは、ESI[tronic] 2.0 Online によって、明確に表示されます。この機能は、アップデート 2021/3で使用できるようになります。



ESI[tronic] 2.0 Online: SDAのBoschIDの登録とログイン

※上記スクリーンショットはドイツ語ですが、製品版では日本語化されます。

アップデート Ver. 2021/3.01 とそれに続くアップデートにより、ユーザーはセキュリティ保護のされた VW, Audi, Seat, Skoda の広範囲な診断を実施できるようになる予定です。より多くの自動車メーカーが車両を不正アクセスから守るために、SDAの適用範囲は継続して拡大していきます。

ポッシュは、SDA において、更なる自動車メーカーのソリューションをタイムリーに提供できるよう、自動車メーカーと親密な連携を保ちます。

SDA の利用料金は、均一料金で提供するため、整備工場は、個々の自動車メーカーのセキュリティアクセス権購入のための請求書や支払いの心配をする必要がなくなります。 SDA のセキュリティ保護された診断データへのアクセス利用料金は、コントロールユニット診断 (SD) のライセンス料に含まれます。

セキュリティ保護された車両システムの故障診断において、セキュリティアクセス権が無い状態では、診断機能が 故障コードの読み取りなどの受動的な診断機能に制限されます。 その場合、例えばドライバーアシストシステムのエーミング のような能動的な診断機能は、セキュリティアクセス権無くしては実施することが不可能になり、場合によっては(システムによっては)サービスインターバルのリセットも実施出来ない状況になります。

SDA では、一元的に(ポッシュとセキュリティアクセス権に関する契約を結んだ)様々な自動車メーカーのセキュリティ保護された診断機能にアクセスができるようになるため、時間の節約と効率的な方法で様々な車両の広範囲な診断作業を継続して実施できることとなるため、ワークショップの競争力を維持することが可能となります。

SDAを使用するためには、コントロールユニット診断 (SD) の有効なライセンスに加え、ご使用のPCの安定したインターネット接続環境、現行世代のKTS (KTS 560、KTS 590) の使用が必要となります。

Secure Diagnostic Access (SDA) の利点一覧

- セキュリティー保護された車両診断データへ迅速かつ容易にアクセス
- 個々の車両メーカーによる様々なソリューションの統合による、アクセス権限の一元管理
- 新機能によるコスト削減と時間効率の向上を通じ、様々なブランドを扱う修理工場の競争力を確保

自動車メーカーの修理・メンテナンスデータの統合



自動車修理工場は、電動化/電子化されたシステムの修理、ドライバーアシスタンスシステムのエーミング、さらには個々の部品の交換など、ますます複雑な修理プロセスやメンテナンスに直面しています。

ESI[tronic] で、提供している修理とメンテナンスの情報を向上させるため、データ作成のコンセプトが、EU規則に則って改定されました。

ボッシュは今年の5月のオンラインアップデート以降、コンポーネントの位置情報、コンポーネントの取り付け・取り外し手順、コンポーネントの3Dイラストと写真、個々の車両タイプへの割り当てなど、自動車メーカーオリジナル情報の提供を開始しています。

将来的には、電気配線図も自動車メーカーオリジナル情報のデータを基に統合される予定です。

現在、自動車メーカーオリジナル情報には、Mercedes-Benz、BMW、Fiat、Ford等のブランドが含まれています。また、そのコンテンツと自動車メーカーは、年間を通じて段階的に拡大していく予定です。

それにより、ボッシュはユーザーが使い慣れた コントロールユニット診断 (SD) ソフトの詳細レベルを、自動車メーカーの修理・メンテナンス情報と組み合わせます。(自動車メーカーのオリジナルデータの閲覧には、一部 ESI を使用している国により制限されるコンテンツがあります。)

また、さらなる自動車メーカーの修理・メンテナンス情報は、ボッシュによって継続的に開発され、使用国による制限についても、段階的に緩和していく予定です。

インストール不要の自動アップデート



2022年より、ESI[tronic] 2.0 Online の診断機器のアップデートは、さらに簡単でシンプルになります。

ダウンロードの時間とハードディスク容量の節約のために、ESI[tronic] 2.0 Online のダウンロードは将来コントロールユニット診断 (SD) のみにになります。

車両装備 (A)、トラブルシューティングマニュアル (SIS)、メンテナンス (M)、車両配線図 (P)、既知の故障 (EBR)、ディーゼル/電装品 パーツ (D/E)、コンポーネント (K)、標準作業時間表 (B) などのコンテンツは、すべてオンラインモードでの閲覧となり、ダウンロードやインストールの必要がなくなります。必要なのは、自動的に最新の情報へアクセスする為の、インターネット接続のみです。

現在、これらのコンテンツはオフラインモードでも使用できるように、ローカル端末(PC)にダウンロードされインストールされています。

この機能は2022年に使用できなくなります。

オンラインモードは、2018年より既に
ESI[tronic] 2.0 の全てのユーザーに利
用可能となっています。

**ワンクリックでオンラインモードを起動し
ましょう!**



ESI[tronic] 2.0 Onlineの利点一覧:

- シンプルで迅速なインストールによる時間節約
- ダウンロード容量が小さいため、少量のハードディスク容量で保存可能
- 低速インターネット回線でも最小限の読み込み時間を可能に: ESI[tronic] 2.0 Online は、短時間でドキュメントを読み込むために、インテリジェントなキャッシュメモリと、最適化された高パフォーマンスのデータサーバーを使用しています。
- インストールの必要なしに、大部分の情報アップデートを毎月自動更新
- フリーテキスト、故障コード、コンポーネント名等による検索機能により、全てのドキュメントへ直接アクセスが可能
- コントロールユニット診断 (SD) は、常にローカル端末(PC)にインストールされ、インターネット接続なしでも利用可能

Range of (brand) new vehicles covered



システムがカバーする車両(ブランド)範囲を拡大するイニシアティブは継続しています。

以下の車両モデルは、発売後わずか数週間で開発され、現在ESI[tronic]にて利用可能です：

- **Toyota Yaris Cross**

(RB key: TOY114501 / TOY114504 / TOY114507 / TOY114509)

特に、新車の最も重要なサービスおよび修理タスクのシステムと機能に焦点が当てられています。

対応する車両は、通常のメインおよび中間アップデートを介して利用できるようになります。



FCAおよびルノー/ダチアの安全な車両診断のための 個々のソリューションの使用法に関するステップバイ ステップの説明

新しい車両モデルの車両電子機器を不正アクセスから保護するために、Fiat ChryslerとRenaultおよびDaciaは、すでにいわゆる個別ソリューションを導入しています。これらはESI[tronic] 2.0 Online でサポートされているため、ESI[tronic] ユーザーはセキュリティー保護された車両電子機器を備えた車両の包括的な診断を実行するためにこれを使用することができます。

これらの車両システムの診断をさらにサポートするために、ESI [tronic]ユーザーはセキュリティー保護された FCA および Renault/Dacia の車両を診断するときに、それに対応する通知ウィンドウで、ステップ・バイ・ステップの手順説明を閲覧出来るようになりました。 これにより、同車両メーカーのポータルへの登録プロセスをナビゲートします。

ポータルまたはアクティベーションプロセス、手順は、「メインメニュー」⇒「ユーザー設定」⇒「メーカーログイン」からも閲覧することができます。

